

事業所名

放課後等デイサービスひかりのいえ

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

3

月

1 目

法人（事業所）理念		「すべての家族が幸せである社会の実現」										
支援方針		ひとりひとりの個性を大切にし、遊び・療育を通して社会性・協調性を身に着けることを第一としている。 生きるために必要な「自分の気持ちを表現する力」「人を信頼する力」「人にちょっと甘える力」を身に着けられるようサポートする。 理学療法や運動療法を取り入れた療育を特徴としており、個人に合わせた行動機能の支援にも力を入れている。										
営業時間		月～金	14	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	○あり・なし
		土	10	時	0	分から	16	時	0	分まで		
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	手洗い・うがい、挨拶、健康チェック、帰宅準備、忘れ物チェックなど、毎日決められた作業をきっちり行うことで、基本的な生活習慣の形成を行っている。 学校の宿題の支援を行っており、事業所内だけでなくとどまらない外部生活での習慣の形成にも力を入れている。 柔道整復師による運動訓練等を通じて、健康の増進や運動機能の改善を図っている。										
	運動・感覚	事業所内にボルダリングや雲梯を設置しており、遊びを通じた筋力強化や運動機能の向上を図っている。 理学療法を用いた体操やリトミック等により、姿勢保持や運動・動作の改善、平衡感覚の向上を図っている。										
	認知・行動	事業所内にボルダリングや雲梯を設置など、触覚的刺激を取り入れている。またイベントごとに壁の装飾を変える等することで視覚的な刺激を大切にし、季節感の認知の育成を支援している。 積極的に色や数をモチーフとした遊びを取り入れており、概念形成の習得を目指している。										
	言語コミュニケーション	事業所では子どもたちが自ら作りあげる「手作り遊び」を行っており、遊びを作る中で意見を言う力、傾聴力の形成を図っている。 外国人による英語のレッスンを週1日開催しており、言語習得だけでなく言語の楽しさを知り、自発的な発声を促す効果を目指している。イベントにおいても外国人を招くことで、多文化に触れ、多様なコミュニケーションに触れる機会を設けている。										
	人間関係社会性	毎日みんなで一緒に遊ぶ時間を設けており、協同する力や身近な友人との信頼関係の形成・構築を支援している。また、外遊びの際には地域の子どもたちと積極的に交流を図るようにしており、社会性の形成を図っている。										
家族支援		家庭内の困りごと等に対する相談・助言等サポートを行っている。 ショートステイを併設しているため、家族のレスパイト支援も行っている。 Instagramやブログを通じて、療育の様子を知ってもらえる体制を整えている（個人情報等に配慮）。							移行支援		担任教諭や進学先の学校教諭との連絡体制の整備を行っている。	
地域支援・地域連携		公園等での地域の子どもとの交流を普段から行っている。 児童発達支援の相談員と連携を取り、こまやかな支援に努めている。							職員の質の向上		個別の児童に対する担当者会議を実施している。 専任のスーパーバイザーによる助言や定期的な研修会の開催している。 資格取得・研修受講支援を行っている。	
主な行事等		誕生日会、季節ごとのイベント（ハロウィン、クリスマス等）を積極的に行っている。										